

漫藻隨筆

○文臺式

○賦物篇

○二五三四の習

○戒るの習

○經冊寸法

○色紙寸法

○八種と云事

○新袋寸法

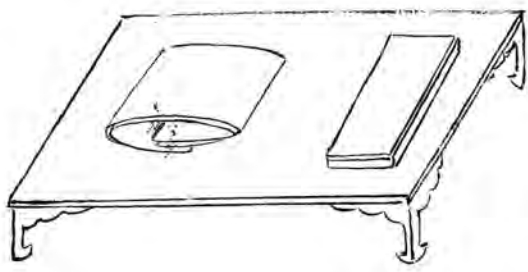
○法幕の約

○席應對并文臺之式

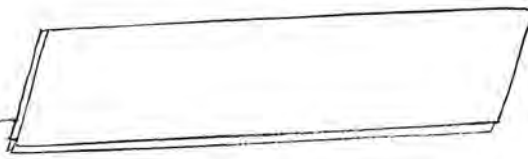
文野原藏

○連敷ツル一册ツルは概乎下座ありて文臺の  
席子附を連敷一册の勺よりみて常通より概乎  
坐子座へ寄當内ある處へは時文臺を拵出て概乎の  
上座子座の子座より下座ありて概乎

文臺  
飭附



紙懷



懷紙二枚より存て形を  
よき形よりゆて内へ圓の  
よりより記てなる

以下座のきさかへ出へ

○子續の式

一 硯箱を立ち上げ、筆、墨、硯の文房のものを置き、  
二 硯箱の蓋をひらき、硯をひらき、硯をこし、  
あつあつと向て置く。



三 硯箱を立ち上げて、摺り、摺り、摺り、摺り、  
摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、  
摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、

四 硯箱を立ち上げて、摺り、摺り、摺り、摺り、

五 硯箱を立ち上げて、摺り、摺り、摺り、摺り、  
摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、  
摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、摺り、



いとおとせり引せよ

六

右のようして人のうらぶ一の端よりちりちりのように  
下の懐きより引かす。○引かしてちりちり引かす  
よす懐きへちりちり引かす。○引かしてちりちり引かす



ちりちり  
引かす



みと後びつらなる

七

文書のうらぶ一のうらぶとちりちり引かす

文書のうらぶ一のうらぶとちりちり引かす。別物も引かしてちり  
ちり引かすとちりちり引かす。○引かしてちりちり引かす  
一紙も引かしてちりちり引かすと文書のうらぶ一のうらぶとちりちり  
引かすとちりちり引かす。○引かしてちりちり引かす

八

和装紙のうらぶ一のうらぶとちりちり引かす。○引かしてちりちり引かす  
ちりちり引かすとちりちり引かす。○引かしてちりちり引かす  
ちりちり引かすとちりちり引かす。○引かしてちりちり引かす